

No.27 キーワード： 追肥の省力化(流し込み施肥)、多収性品種

(農)アグリスターオナガ
石川県羽咋市尾長

基本情報

- ・ 気候：日本海側気候
- ・ 土質：粘質土
- ・ 従事人数：7人
- ・ 飼料用米の作付開始：H27年産

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	21.5ha	10~50a
主食用米(直播)	0.8ha	10a
飼料用米(移植)	7ha	50a
加工用米(移植)	2.7ha	50a
施設野菜	30a	—
露地野菜	50a	—
養液水耕	6a	—



流し込み施肥を行った「あきだわら」

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ・ 水稲生産において高密度播種育苗、ICT農業管理ツールの活用等、先進的な技術や独自性のある創意工夫により、低コスト化を目指す
- ・ 実需者ニーズに応じた高品質な米づくりのために、実需者が望む品種の作付前契約によるオーダーメイド栽培を実施

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

①取組概要

水稲の全品種で基肥一発肥料を施用している中、多収性品種の場合はさらに追肥が必要となるため、流し込み施肥により軽労・省力化を図る。

品種：あきだわら(多収性品種、移植)

基肥：全層施肥(基肥一発肥料) N13~14kg/10a

追肥：水口からの流し込み施肥(専用液肥) N1kg/10a

(慣行・・・動力散布機での施肥(硫安) N1kg/10a)

②適用条件

用水の流入量が豊富な圃場(流入量20t/10a程度)

移植、直播、飼料用、加工用にも適用可

導入効果

・施肥コスト

物材費 約2.2倍
(肥料、機械、燃料)

作業時間 ▲約9割

(慣行：硫安動力散布機散布
40分/10a
流し込み施肥 4分/10a)

労働費 ▲約9割

トータルコスト ▲約1割
(労働費を1,200円/時間とした場合)

支援体制

- ・ 県とJAが肥料の選定や施肥方法等について、情報提供や技術支援を実施

課題・今後の目標

- ・ 水稲栽培において、追肥は収量を確保する重要な作業であるが、経営規模拡大に伴い、散布作業が負担となっており、軽労化が必要
- ・ 高密度播種による育苗箱数の削減を目指す